

河西便り



第8号 少年メッセージ・春の県大会②号
2018.6.13 河西中学校

春の県大会 本校生徒の活躍(上位入賞)

平成30年度 和歌山県中学校サッカー選手権大会
(6月9日(土)・10日(日))会場:岩出中学校
優勝



平成30年度 和歌山県中学校柔道大会(6月10日、会場:白浜町総合体育館)
2年生男子 無差別級 2位 池田 洸星 選手
3年生男子 66kg以下級 3位 一ノ瀬 元暉 選手

平成30年度 和歌山県中学校卓球選手権大会(6月9日、会場:和歌山県立体育館)
男子個人 3位 前田 快 選手



「少年メッセージ2018」和歌山市大会(6月2日、会場:あいあいセンター) 入選

6月2日(土)、市あいあいセンターにおいて、「少年メッセージ2018 和歌山市大会」が開催されました。

市内20校、1470作品の中から各校が推薦した39作品のうち、原稿審査を通過した15作品を当該生徒達がスピーチしました。



本校 入選作品

「今を大切に」

和歌山市立河西中学校 3年4組 柑本 奈保

朝目を覚まして顔を洗い、大好きなイングリッシュマフィンを食べ学校に行く。そして何となく時間が過ぎ、気付けば今日が終わっている。こんな私の毎日はとても自由で、贅沢すぎるほど贅沢だ。

世界には未だに戦争をしている国があるということを知ったことがある。信じられないほどびっくりしたり、悲しかった。裕福に暮らして笑っている人もいれば、ただただ一日が過ぎることを願って怖がりながら生きている人もいる。戦争を体験したことがない私は、同じ人間なのにこんなにも違うのかと思った。

どうしたら戦争が終わるのかなんて、未熟な私が考えたところで何の力になれることもないことはわかっているけど、一人でも多くの人々の役に立ちたい。そこで私は二つ考えを持った。

一つ目は、ユニセフ募金などの支援活動に参加することだ。思い返せば学校で行っているユニセフ募金に協力したことはほとんどない。でも世界の悲惨な現実を知った今、それがすごくひどかったことか思い知らされた。だから次に同じような機会があったときは、絶対に協力しようと心に決めた。

二つ目は、感謝の気持ちを忘れないことだ。今ある生活がどんなに幸せなことか考えたことなんてなかったけど、今の私ならありがたいと思うことができる。お風呂に入って暖かい布団で寝られること、好きな部活や習い事ができること、好きな食べ物が食べられること、欲しい物が手に入ること、家に帰れば家族が私を優しく迎え入れてくれること、大好きな人の顔を見られることや一緒に笑い合うことができること。あたりまえだと思っていたことが、どれだけ幸せなことだったか。

この二つの考えから私が今できること、しなくてはならないと思った最終的な応えがはっきりとわかった。それは、強く生きるということだ。周りからどう思われているだろうと、よく人の目を気にしてしまったり、まったく共感していないのに人の意見に流されたりしてしまう私の生き方は、戦争をしている国で必死で自分を守って生きている人からすると、すごく弱くて格好悪い人間だと思われる。今のままじゃ仕方がない。だから私は、強くなりたい。芯のある一人の人間になりたい、そう思った。

今年から私は中学三年生で、所属しているソフトテニス部の卒部や受験勉強、通いなれた校舎や大切な人との別れなど、つらい事がたくさん待ちかまえていると思う。それだけではなく、この先、一生困難にぶつかり続けるだろう。でもそんなとき、この作文を書いたことを思いだそうと思う。そうすればきっとまた、自分の小ささや弱さに改めて気付いて、がむしゃらに前だけを見て生きていけると思うからだ。

私は強くなりたい。だから今を大切に生きていく。

家庭学習支援システム CULTEK(カルテック) 活用しましょう!

和歌山市では、子どもたちの家庭学習・自主学習支援を目的として、学習支援サービスを導入しています。平成30年度からはさらに機能を充実させた「カルテック」が利用できるようになっています。「カルテック」は、「インターネット上にあるドリルを取り出す」というシステムで、自分のID等を入力すれば、家庭のPCやスマートフォンで問題に取り組むことができます。

